



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☐(076)221-5398

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/>

国際会長主題	「とにかくやろう-成せば成る」 “Audere est Facere – To dare is to do”
アジア地域会長主題	「とにかくやろう-成せば成る」 “Audere est Facere – To dare is to do”
スローガン	「信念をもって使命をはたそう」 “Mission with Faith”
西日本区理事 主題	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
	“Contribute to the Community through Active Services with Love.”
副題	「理想を目指して変革と行動！」
	“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”
中部部長主題	「先ず、一步 一楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう—」
金沢犀川クラブ会長主題	「わくわく例会 広げよう仲間の輪」
	“Energize Our Meetings, Widen Our Circle of Friends”
会長：北肇夫 副会長：澤瀬諭 書記：高木啓一 会計：川村孝治 直前会長：三谷信三	

今月の聖句：「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」
この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。 マタイによる福音書 1.23

2011年12月強調月間

EMC-M

親睦のエネルギーを放出し、限りない奉仕をしよう。西日本区2000名に向かって大きく前進!!

大岩 英人 EMC事業主任

<p>☆☆☆12月第一例会案内☆☆☆</p> <p>金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会</p> <p>日時：12月15日(木)18:30~20:30</p> <p>場所：金沢ニューグランドホテル</p> <p>会費：4,000円(コメント・マコメットは1,000円)</p> <p>プレゼント：手製または500円程度のものを持参。</p> <p>***プログラム(概要)***</p> <p>司会：澁谷洋太郎君(金沢クラブ)</p> <p>開会・点鐘：幸正金沢クラブ会長</p> <p>ワイズソング：一同</p> <p>聖書：司会者</p> <p>メンバー・ゲスト紹介：各クラブ会長</p> <p>クリスマスメッセージ：日本基督教団金沢教会 阿部倫太郎伝道師</p> <p>食前の感謝：数澤輝夫(金沢クラブ)</p> <p>——会 食——</p> <p>ゲーム・プレゼント交換：(金沢クラブメット会準備)</p> <p>ニコニコタイム：川村孝治(金沢犀川クラブ)</p> <p>金沢YMCAの歌：一同</p> <p>閉会・点鐘：北犀川クラブ会長</p>	<p>☆☆☆11月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会]11月10日(木)19:00~21:00、兼六城下町“ホテル兼六”2階「時雨の間」、参加者：卓話「イングリッシュガーデンの魅力」福塚理恵氏、川村君・北君・澤瀬君・平口君・北メット(犀川クラブ)、飯田玲子さん・長岡満寿夫氏(ゲスト)。</p> <p>[第二例会]11月24日(木)19:00~21:35、金沢YMCA集会室、出席者：川村君、北君、平口君、三谷君。 金沢クラブメット会主催 “いも煮会” 11月5日(土)11:00~14:00、北君・澤瀬君・北メット参加。 ながまちふれあいフェスティバル 2011 11月13日(日)、中央公民館長町館とその周辺広場。</p> <p>今月のハッピーバースデー 北メット 12月3日 ユニセフ街頭募金(金沢YMCA主催) 12月23日(祝・金)13:00~14:00、堅町商店街入口。 1月の当番 司会：澤瀬君、準備：平口君 1月第一例会 定例の第二木曜(1月12日)ではなく、第四木曜(1月26日)に変更。卓話：三谷道子氏「俳句入門Ⅲ(季語は冬)」。入会式も行う予定。 *例会日に使用済み切手をご持参ください。</p>
---	--

当クラブ	11月出席者	11月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 6名	メン 4名	83.3%	前年度繰越 3,036g	11月分 5,150円
広義会員 0名	メネット 1名		11月分切手 120g	
	ビジター 0名	メイキャップ 1名	今年度累計	
	ゲスト 3名		切手 150g	
			現金 0円	
合計 6名	8名	83.3%	合計 3,186g	累計 37,911円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 11月第一例会参加記 ◆

卓話“イングリッシュガーデンの魅力”を聴いて

澤瀬 諭

11月10日(木)、例会会場の兼六城下町“ホテル兼六”に福塚理恵氏をお迎えし、標記テーマの卓話を拝聴しました。今回は、昨年夏、ご自分の企画による英国庭園ツアーに参加した、ガーデニング愛好の方々と一緒に巡ったイングリッシュガーデンの魅力と歴史について伺いました。

イタリアやフランスの影響を受けながらも今日のイギリス独自の庭園様式が作られていく様子を、それぞれ特徴のある庭園の写真を紹介しながら説明してくださいました。卓話者の花に対する愛情の深さが感じとれ、また、花を生かした庭園の魅力が我々にも十分伝わり、とても新鮮な例会になったことを感謝いたします。

金沢犀川クラブのホームページに例会の写真が紹介されていますのでご覧ください。

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/album67.html>



◆ 中部EMCシンポ参加記 ◆

～知ろう、語ろう、楽しもう！中部のワイズ2011～

北 肇夫

2011-12 中部 EMC シンポジウムは、愛知県青年会館で、11月12日(土)に開催され、当クラブからは筆者が参加した。今回は、標記副題をキャッチフレーズに3部構成で行われ、参加者は30数名であった。

第1部の前半は、テーマ「ワイズメンズクラブをもっともっと知ろう」のもと、若松芳弘中部 EMC 事業主査から「各クラブアンケート結果から見えるもの」という演題で、他クラブの活動状況やワイズメンの達成感、満足度などについて分析や解説があった。

第1部の後半は、各クラブの発表者から、①自クラブの良いところ、②困っているところ、③苦労を逃ね除けた方策、④ぜひ皆さんに伝えたいこと、⑤尋ねてみたいこと等々、限られた持ち時間のなか忌憚のない話があった。

第2部は、「ワイズメンズクラブについてもっと聞こう、もっと語り合おう」というテーマのもと、ピギナーからベテランまでの混成で5グループに分かれ、第1部後半の各クラブ発表内容を糸口に話し合いが持たれた。最後は澁谷洋太郎中部監査役の講評で締めくくられた。

第3部では、会場を“仙石すし”(名古屋市中村区太閤4丁目)に移動して懇親の場が持たれ、第3部のテーマ「ワイズメンズクラブを楽しもう」を実感した。

今シンポジウムでの体験を活かして、会員増強の決意をクラブ会員とともに共有したいと思う。

◆ ながまちふれあいフェスティバル参加記 ◆

澤瀬 諭

今回の「ながまちふれあいフェスティバル」(金沢市青少年団体連絡協議会主催)は、11月13日(日)、3.11 東日本大震災の被災地復興支援のため“支えあう 気持ちでつくる ながまちフェスタ”をテーマに開催されました。

このフェスティバルには金沢クラブと金沢犀川クラブが合同で例年参加し、YMCA や両クラブの活動をパネル展示で紹介し、来場者にアピールしています。

各参加団体のブースは復興支援のための販売品や募金箱が設置されていました。あいにく雨模様のスタートでしたが、心配された来場者数も目標数を突破し、来場者の暖かい気持ちにも触れましたので、この催しに参加したことが被災地の皆さんに少しでもお役に立てたのではないかと思います。

◆ “川”の付くクラブとの交流 ◆

平口 哲夫

クラブ名称に“川の名称”を用いているクラブは、金沢犀川クラブのほかには和歌山紀の川クラブと仙台広瀬川クラブがあり、このクラブとの交流を深めたらどうかという案が三谷交流委員長から出されたことがある。そこで、仙台に縁の深い私は、まずは東日本大震災のお見舞いを主目的として被災地を訪れた際に、仙台広瀬川クラブの例会にも出席してみたいと思った。その願いが10月22日、仙台広瀬川クラブ芋煮会で実現した経緯については、プリテン前号掲載の「速報」に記した通りである。



ところで、10月10日に開催されたパーベキュー特別例会の際、中部交流主査としてご参加くださった伊藤仁信ワイズ(金沢クラブ)から、「IBC(国際兄弟クラブ)もDBC(国内兄弟クラブ)も結んだことのないクラブは、中部では金沢犀川クラブと津クラブの二つだけなので、締結に向けてなんらかの活動をしてほしい」という主旨の挨拶があった。それを受けて私は、ちょうど仙台広瀬川クラブの芋煮会に参加する予定であることをお伝えし、同クラブの伊勢文夫会長や門脇秀和副会長とは旧知の仲の伊藤ワイズからもよろしくご伝言いただきたいとお願いした。

環境・民族考古学的な視点から捕鯨文化を研究している私は、南紀州の太地町などを何度か訪れたことがある。この地域も今年台風12号による被害を大きく受けたので、来年はそのお見舞いがてら和歌山紀の川クラブの例会に参加する機会を得たい。

IBC や DBC については、メンバー数が二桁に回復してからの方がよいという意見があり、またクラブ全体の状況変化もありえるので、まずは個人的に出かけていって交流してみるのがよいのではないかと思います。

IBC や DBC については、メンバー数が二桁に回復してからの方がよいという意見があり、またクラブ全体の状況変化もありえるので、まずは個人的に出かけていって交流してみるのがよいのではないかと思います。

《 金沢 YMCA のホームページ 》

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/kanazawa-YMCA.html>